

機械器具（32）医療用吸引器

一般医療機器 一般的名称：真空吸引器 JMDNコード：36778000

特定保守管理医療機器 **キック式吸引器 5000cc**

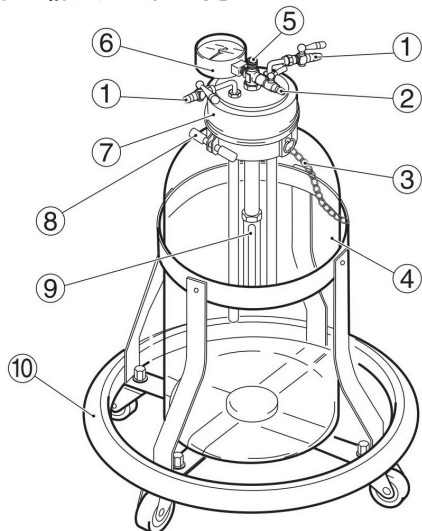
【警告】

- ・使用する前にホースやアダプターが確実に接続されていることを確認すること。[取付が不十分な場合、意図せずに外れ使用者・患者が負傷する危険が伴うため] *
- ・使用前に、吸引瓶にキズやヒビがないかを確認すること。[使用中に瓶が破損し、ガラス・汚物が飛散するおそれがある。] *

【禁忌・禁止】

- ・医療用吸引以外の用途には使用しないこと。[設計仕様に反する使用は正常に作動する保証ができず、危険が伴うため] *
- ・改造しないこと。[設計仕様に反する使用は正常に作動する保証ができず、危険が伴うため] *

【形状・構造及び原理等】 *



1	使用口（2ヶ所）
2	吸引口
3	吊り下げ金具
4	吸引瓶（5,000cc）
5	圧力調整バルブ
6	真空計
7	キャップ
8	吊り下げ金具用締付ビス
9	フロート（オーバーフロー防止用）
10	架車

付属品：吸引ホース（黒）5m×1
患者側チューブ（透明）5m×2
アダプター×1

性能

真空計 -100 kPa
圧力調整範囲 0～配管圧力
吸引瓶 5,000 mL（最大吸引量は 4,000 mL）*

原理

病院の医用ガス供給システムから供給される陰圧を、圧力調整バルブにて調整し、汚物薬品等を吸引瓶内に吸引する。*

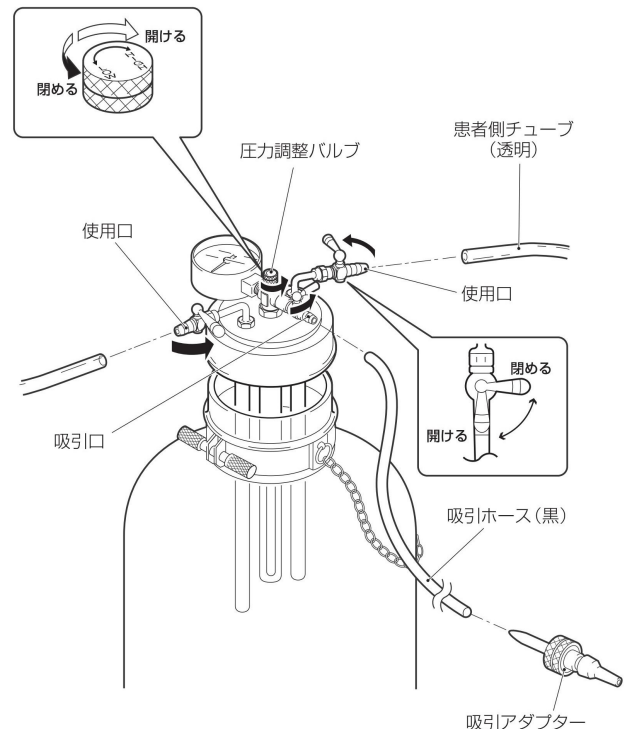
【使用目的又は効果】

病院の医用ガス供給システムから供給される陰圧を利用して、液体又は粒状物質の吸引等の治療に用いる装置である。

【使用方法等】 *

■使用前の準備

1. キャップを吸引瓶に取り付け、架車に乗せる。
2. 吸引ホースに吸引アダプターを差し込む。
3. ホースとチューブを取り付ける。
吸引口：吸引ホースを取り付けます。
使用口：患者側チューブを取り付けます。
4. 3ヶ所のコックと圧力調整バルブを全て閉める。
止まるまで反時計方向に回します。



（使用前準備の注意事項）

- ・キャップは確実に取り付けてください。必要な圧力が得られなくなります。
- ・吸引瓶を持ち上げるときは、必ず吊り下げ金具を持ってください。

■使い方

1. 吸引アダプターを差し込む。

吸引アウトレットに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

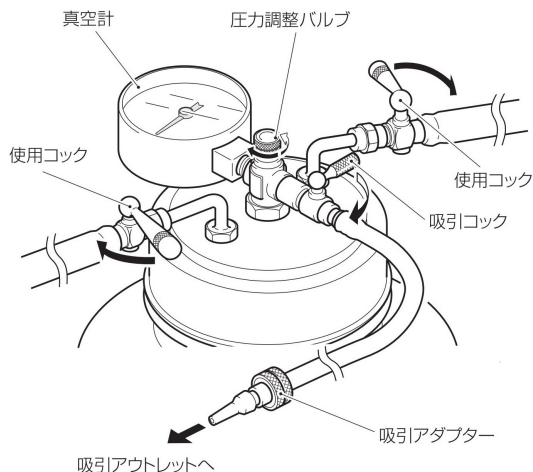
2. 吸引圧力を調整する。

吸引コックを全開にし、圧力調整バルブで任意の圧力に調整します。

3. 使用コックを全開にし、使用する。

4. 使用を中止するときは、使用コックを閉める。

その後、吸引コックを閉めます。



(使用時の注意事項)

- ・吸引瓶の汚物、血液等は充滿しないうちに捨ててください。充滿させると、フロートが汚れオーバーフロー防止機能が作動しないおそれがあります。
- ・吸引しているときにホースを曲げたり、折ったりしないでください。真空計の指針が狂うことがあります。
- ・使用口を 1 ヶ所のみ使用するときは、もう一方のコックを必ず閉めてください。
- ・吸引圧力を調整するときは、使用コックを 2 ヶ所とも閉めて行ってください。

■使用後の取りはずし方

1. 圧力調整バルブと 3 ヶ所のコックを全て閉める。

止まるまで反時計方向に回します。

2. アダプターを抜き、吸引ホースをはずす。

3. キャップをはずし、汚物を捨てる。

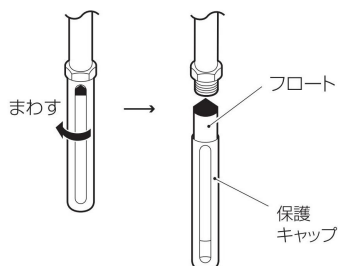
汚物を捨てるときは、必ず吊り下げ金具を持って吸引瓶を持ち上げます。

4. 吸引瓶とキャップを洗浄する。

【使用上の注意】

- ・吸引瓶の吸入量 0~4,000mL
(4,000mL にてオーバーフロー防止フロート作動)
- ・フロートが汚れていると、機能せず汚物が配管に逆流するおそれがあります。フロートの保護キャップをはずして、中のフロートを洗浄してください。(下図参照) *
- ・【使用方法等】の各項にも注意事項を記載しています。 *

■保護キャップのはずし方 *



【保管方法及び有効期間等】

保管方法：必ず消毒を行い、乾燥させてからビニール袋に入れる等、ごみ、ほこりが付かないようにし、常温、常湿かつ直射日光を避けて保管すること。

有効期間：製造月から 5 年 [自己認証による]

但し、O リング、パッキン等のシール部分は劣化するので、随時交換の必要がある。尚、本期限は、標準的耐久期間であり、保証の期間ではない。

製造年月は本体シールに記載 (上位二桁で表される)

シール表示例



① 年表示 アルファベットにて、製造年を表す。

(但し、I と O は使用しない)

例 P 2018 年 R 2020 年 T 2022 年

Q 2019 年 S 2021 年 U 2023 年

② 月表示 1~9, X, Y, Z にて、1~12 の製造月を表す。

例 7 7 月 9 9 月 Y 11 月

8 8 月 X 10 月 Z 12 月

【保守・点検に係る事項】

- ・滅菌する場合、高温・高圧を加えないこと。部品が劣化・破損するおそれがあります。 *
- ・洗浄・消毒を行うときは、ゴム製の部分が洗剤や消毒液の種類によって劣化・損傷するおそれがあるので注意すること。 *
- ・キャップ部分 (フロート部を除く) を分解しないこと。

【使用者における保守点検事項】

- ・日常点検で以下の事を点検すること。
 1. アダプターにキズや変形がないこと。
 2. アダプターの着脱がスムーズに出来ること。
 3. 吸引圧力の調整がスムーズに出来ること。
 4. ホース口にキズや変形がないこと。
 5. オーバーフロー防止が機能すること。

【業者による保守点検事項】

- ・定期点検で以下の事を点検すること。(1 年点検)
 1. 気密検査
-50kPa 以上に合わせ気密試験を行い、漏れがないことを確認する。 * *
 2. オーバーフロー防止機能の検査
フロートがフロート受け面に密着したときに漏れがないことを確認する。
 3. 圧力計の確認
JIS B 7505 に基づき確認、試験を行う。

・検査設備・装置

1. 気密試験装置
2. 吸引供給設備
3. 基準真空計

【包装】

- ・ 1 台 / 箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社セントラルユニ
北九州市小倉南区舞ヶ丘 5 丁目 1-1
TEL (093) 963-8390

製造業者：株式会社セントラルユニ 小倉工場